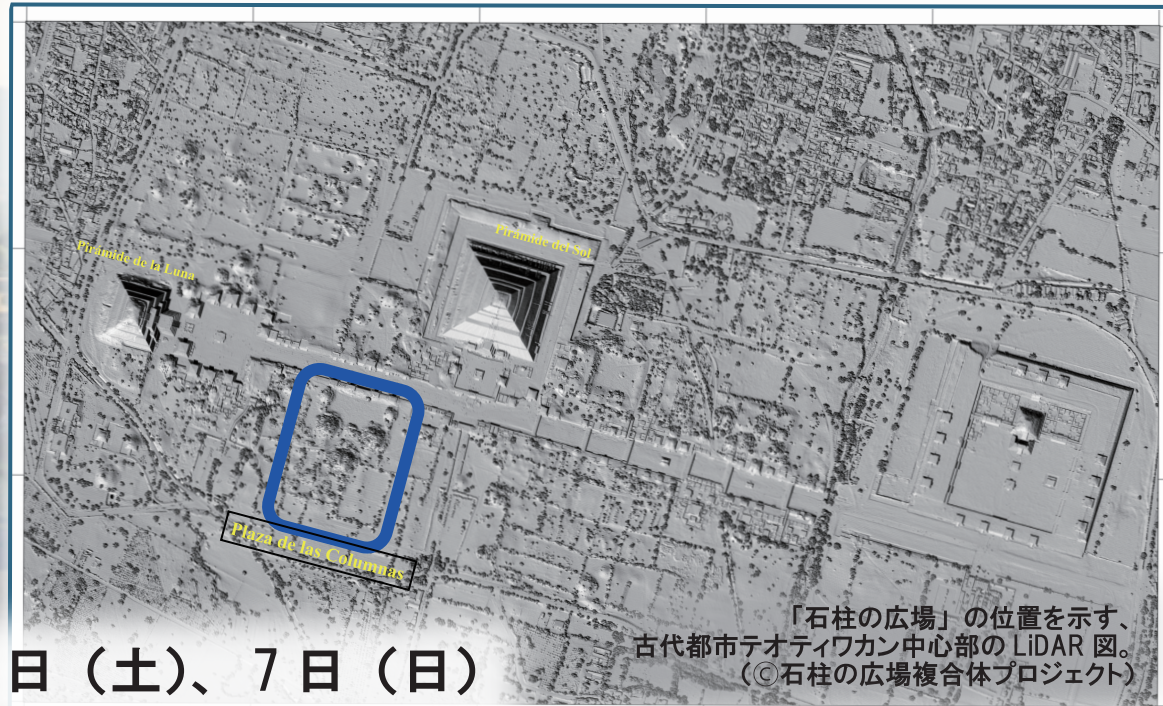


古代アメリカ学会 第30回研究大会・総会



2025年12月6日(土)、7日(日)

国立民族学博物館

本館2階第4セミナー室

大阪モノレール「万博記念公園」駅、
「公園東口」駅より徒歩約15分

JR 茨木駅、阪急茨木市駅よりバス
「日本庭園前」より徒歩約15分

※アクセス詳細は
国立民族学博物館ウェブサイトをご確認ください。
(<https://www.minpaku.ac.jp/information/access/entrance>)

プログラム

【12月6日(土)】

09:30 受付開始

10:00-12:10 調査速報

13:10-16:25 研究発表

16:40-17:40 総会(会員のみ)

【12月7日(日)】

08:45 受付開始

09:00-12:35 調査速報

12:35-14:00 ポスターセッション

14:00-15:50 研究発表

会員無料、非会員500円

参加登録用
ページ



テオティワカン遺跡月のピラミッド © 千葉裕太

月のピラミッドから眺める
テオティワカン遺跡全景
© 千葉裕太

主催：古代アメリカ学会 共催：国立民族学博物館

古代アメリカ学会事務局

〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18
南山大学 第一研究棟4階

プログラムの詳細は次ページ以降をご覧ください

研究大会の詳細は学会HPにて：<https://americaantigua.org/>

E-mail: info@americaantigua.org

古代アメリカ学会 第 30 回研究大会・総会

12/6 (土)

09:30 受付開始

09:55 開会のことば

【調査速報 10:00-12:10】

10:00 チアパス州内陸部における製塩関連遺跡の発掘調査
白鳥祐子 (立正大学)
ブレント・ウッドフィル (ウインスロップ大学)

10:15 メキシコの学校博物館に関する調査
村野正景 (静岡大学)
渡辺裕木 (慶應義塾大学)

10:30 カンパナユック・ルミ遺跡第 7 次発掘調査速報：
神殿における石造階段の発見
松本雄一 (国立民族学博物館)
ユリ・カベロ・パロミーノ (ペルー国立サン・マルコス大学)

10:45 チュパ・ビスカパルカ遺跡における第 2 次発掘調査
土井正樹 (関西外国語大学)
フレディ・ワマン・リラ (チュパ遺跡考古学プロジェクト)
メリア・ルス・キンタニージャ (チュパ遺跡考古学プロジェクト)

—— 休憩 10 分 (11:00-11:10) ——

11:10 ペルー、ワヌコ盆地の地方発展期に関する
予備的調査：クルスパタ遺跡の事例から
佐藤優音 (総合研究大学院大学)
金崎由布子 (東京大学総合研究博物館)
大谷博則 (クエバ・デ・ラス・ピラミデス考古学プロジェクト)
村瀬正紘 (総合研究大学院大学)
マリッサ・カッサーニ
(ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学)
ケビー・フローレス
(ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学)
ペドロ・アンヘレス
(ペルー国立サンティアゴ・アントネス・デ・マジョロ大学)
ホセ・オノフレ (ペルー文化庁ワヌコ支局)

11:25 パコパンパ考古遺跡複合における紡織と
ラクダ科家畜導入に関する一考察
荒田恵 (天理大学附属天理参考館)
関雄二 (国立民族学博物館)
鵜澤和宏 (東亜大学)
ファン・パブロ・ビジャヌエバ (ペルー国立サン・マルコス大学)
ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)

11:40 古代文化の解釈プロセスにおける博物館の役割
——ペルー共和国北海岸ランバイエケ地域を例に
三浦彩 (山形大学)

11:55 ペルー北海岸ワカ・ファチヨの発掘調査
服部拓 (山形大学)
中島瑠花 (山形大学)
松本剛 (山形大学)
ガブリエラ・デ・ロス・リオス
(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)
ジャン・ポール・ニエベス・コルドバ
(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)
渡辺幸奈 (京都大学)
三森小夏 (山形大学)

—— 休憩 60 分 (12:10-13:10) ——

【研究発表 13:10-16:25】

13:10 モチェ〜ランバイエケ移行期における粗製土器の編年
——ワカ・ソレダーの発掘調査成果から——

渡辺幸奈 (京都大学)
松本剛 (山形大学)
ガブリエラ・デ・ロス・リオス (ランバイエケ複合考古学プロジェクト)
服部拓 (山形大学)
中島瑠花 (山形大学)
三森小夏 (山形大学)

13:35 儀礼と景観の結節としての
低密度・分散型都市「シカン」
——アンデス文明における都市概念の再構成
松本剛 (山形大学)
ガブリエラ・デ・ロス・リオス (ランバイエケ複合考古学プロジェクト)
渡辺幸奈 (京都大学)
服部拓 (山形大学)
中島瑠花 (山形大学)
三森小夏 (山形大学)

14:00 社会名称「タワンティンスユ」の源泉
大平秀一 (東海大学)

—— 休憩 10 分 (14:25-14:35) ——

14:35 オルメカからマヤへ：言語学からの視点
八杉佳穂 (国立民族学博物館)

15:00 マヤ文字の繰り返し記号 (22A) の機能
磯和樹 (京都大学)

—— 休憩 10 分 (15:25-15:35) ——

15:35 D・ドゥランと A・テソソモクの史料における
シャーマニズムの主題について
岩崎賢 (神奈川大学)

16:00 『クロニカ・メヒカーナ』に見るメシーカ人意識
——征服戦争の記述から
井上幸孝 (専修大学)

—— 総会の参加資格と定足数確認作業 (16:25-16:40) ——

16:40 総会 (会員のみ)

発表要旨はこちら→



※発表時間は、調査速報 15 分 (発表 12 分、質疑応答 3 分)、
研究発表 25 分 (発表 20 分、質疑応答 5 分) です。

古代アメリカ学会 第30回研究大会・総会

12/7 (日)

08:45 受付開始

—— 休憩 85 分 (12:35—14:00) ——

【調査速報 09:00-12:35】

09:00 画像研究の可能性：
BIZEN 中南米美術館・デンバー美術館収蔵の
ヒスイ製品
久保山和佳（東北大学 日本学術振興会特別研究員 PD）

09:15 チャルチュアパ遺跡の都市化について
伊藤伸幸（名古屋大学）

09:30 ホンジュラス、キミスタン谷の調査
ーラ・コロサ遺跡ー
寺崎秀一郎（早稲田大学）

09:45 ホンジュラスのマヤ文明世界遺産
「コパンのマヤ遺跡」における最新調査成果報告
中村誠一（公立小松大学）

—— 休憩 10 分 (10:00—10:10) ——

10:10 アンデス形成期のフロンティアにおける地域間交流
山本睦（山形大学）
オスカル・アリアス（テュレーン大学）

10:25 ビルカバンバ地方のインカ道について
渡部森哉（南山大学）

10:40 圧痕レプリカ法による
クントゥル・ワシ遺跡出土土器の分析
莊司一歩（山形大学）
井口欣也（埼玉大学）
ビクトル・バスケス（アルケオビオス）
テレサ・ロサーレス（トルヒーヨ大学）

10:55 古代アンデス染織品の染料分析
浅見恵理（埼玉大学）
西澤弘恵（東京大学）
金崎由布子（東京大学総合研究博物館）
大崎綾子（女子美術大学）
瀬川かおり（女子美術大学）

—— 休憩 10 分 (11:10—11:20) ——

11:20 遺産と社会的記憶
ーペルー・カハマルカ州パコパンパ村における
考古遺産と無形文化遺産の統合戦略ー
サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ（立命館大学）
関雄二（国立民族学博物館）

11:35 2025 年度ペルー北部ワカ・ブラバ遺跡発掘調査速報
手嶋 啓仁（埼玉大学）
ルイス・アルベルト・レイムンド・ルメ（ペルー国立サン・マルコス大学）

11:50 アンカシュ県北部における
レクワイ期およびワリ期の遺跡分布と
遺構・遺物に関する報告
吉川主浩（南山大学）

12:05 ペルー北部ヘケテペケ川における
地形形成作用と文明形成期の土地利用に関する調査
鶴見英成（放送大学）
荻谷愛彦（専修大学）
縫村崇行（専修大学）
大谷博則（有限責任個人企業 Otani Hironori E.I.R.L.）
カルロス・モラレス（ペルー文化省）

12:20 ペルー北部高地エル・パラシオ遺跡における
儀礼的コンテクストと動物利用
ー 2012 年発掘資料の予備調査 ー
清家大樹（聖マリアンナ医科大学）
渡部森哉（南山大学）

【ポスターセッション 12:35-14:00】

ポスター① ペルー天野プレコロンビアン織物博物館資料に
基づく笛吹きボトルのタイプ分類の再考
吉田晃章（東海大学）
真世土マウ（岡山県立大学）
鶴見英成（放送大学）
森下矢須之（BIZEN 中南米美術館）

ポスター② 笛吹きボトルの形態と音色の変化に関する
比較研究：エクアドル資料調査を中心に
真世土マウ（岡山県立大学）
吉田晃章（東海大学）
鶴見英成（放送大学）
森下矢須之（BIZEN 中南米美術館）

ポスター③ 古代アメリカ 文明のマンガ的想像力
ーメソアメリカ編
小林貴徳（専修大学）
宮野元太郎（東亜大学）

ポスター④ 古代アメリカ 文明のマンガ的想像力
ーアンデス編
宮野元太郎（東亜大学）
小林貴徳（専修大学）

【研究発表 14:00-15:50】

14:00 中米・エルサルバドルのウスルタン様式土器に
含まれる火山ガラス
北村繁（新潟大学）
村野正景（静岡大学）
市川彰（国立民族学博物館）

14:25 テオティワカンの石材選好にみられる石の価値
ー儀礼的文脈より出土した黒曜石製品を中心にー
千葉裕太（岡山大学）

—— 休憩 10 分 (14:50—15:00) ——

15:00 モニュメントの先行研究・「石柱の広場」複合体
発掘調査から推測されるテオティワカンの国家政体
杉山三郎（岡山大学文明動態学研究所、
アリゾナ州立大学）
杉山奈和（岡山大学文明動態学研究所、
カリフォルニア大学リバーサイド校）

15:25 マヤ文明の起源と地域間交流：
メキシコ、アグアダ・フェニックス遺跡の
石器分析を中心に
青山和夫（茨城大学）
猪俣健（アリゾナ大学）

15:50 閉会のことば

発表要旨はこちら→



※発表時間は、調査速報 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）、
研究発表 25 分（発表 20 分、質疑応答 5 分）です。